

令和4年度

奥会津地域における  
広域連携地域づくり推進業務  
報告書

令和5年 2月

# 目次

1	業務目的・業務概要	2
2	広域連携地域づくり検討会議及び観光・交流WGの運営	6
3	実証事業の実施支援	25
4	まとめ・次年度以降の提言	35
5	参考資料	38
	概要版 令和4年度奥会津地域における広域連携地域づくり推進業務のまとめ	

## <別添資料>

- 奥会津広域連携地域づくり検討会議 議事概要
- 観光・交流WG 議事概要

1

## 業務目的・業務概要

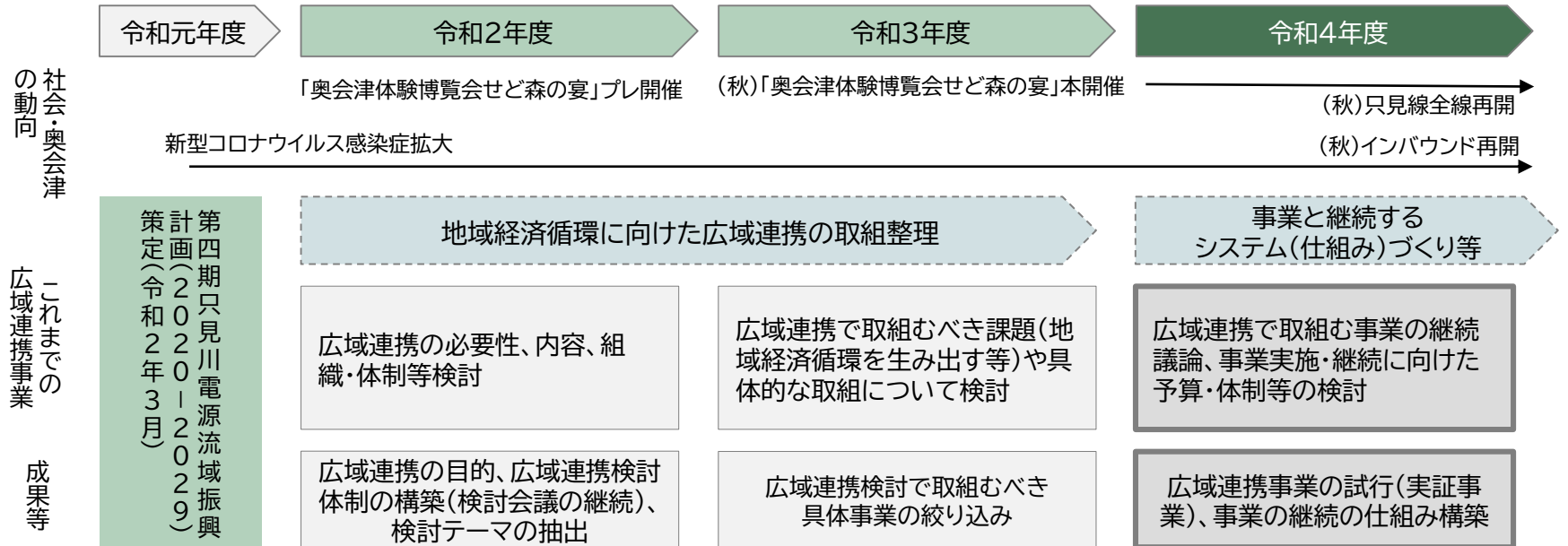
# 1 業務目的・業務概要

## ■ 観光分野における広域的な地域づくりを目指し、実証事業を通じた解決に向けてのシステム構築を目指す

### 業務目的

- 第四期只見川電源流域振興計画における各種目標の達成に向けて、奥会津地域における交流人口の増加を図るため、特に観光分野における広域的な地域づくりを進めていく必要がある。
- 本業務は、昨年度開催した「広域連携地域づくり検討会議(以下、検討会議)」における検討結果を踏まえ、共有した地域内各町村における課題やそれぞれの取り組み・施策等を、奥会津地域全体の観光分野における事業展開へとつなげるため、いくつかの課題について実証事業を通じた解決に向けてのシステムを構築することを目的に実施する。
- また、他の課題についても引き続き「広域連携地域づくり検討会議」での検討を行う。

### 奥会津地域における広域連携地域づくりの流れ(令和4年度の位置付け)



# 1 業務目的・業務概要

## ■「広域連携地域づくり検討会議」の運営と「観光・交流WG」による実証事業支援を実施

### 業務内容

- 本業務は、実証事業を通じた解決に向けてのシステム構築に向け、継続的に設置した「広域連携地域づくり検討会議」の運営とともに、実証事業を行う事業主体への支援として、実証事業の検討・実施を目的に設置した「観光・交流推進WG」の運営及び実証事業の支援を実施する。

### 令和4年度の奥会津地域広域連携地域づくりの業務内容・実施体制(検討会議・WG)

#### 広域連携地域づくり 検討会議

メンバー:7町村(自治体)・観光協会、  
事務局:奥会津振興センター

#### 実証事業の検討・実施 (観光・交流推進WG)

メンバー:観光協会中心  
(一部自治体観光担当者)  
事務局:奥会津振興センター

※他事業等で実施し、必要に応じて  
情報共有・議論

- 産業振興×雇用創出(農商工連携)
- 広域的な移住受入体制構築
- 利便性の高い地域交通(二次交通検討)

#### 業務内容(「広域連携地域づくり検討会議」の運営)

- 各町村の取組の共有、連携可能性を踏まえた観光分野の広域連携事業の検討
- 実証事業実施結果を踏まえた今後の展開の検討(広域地域づくりを進める組織(中間事業体)の検討、組織育成へ向けての課題整理)

#### 業務内容実証事業を行う事業主体への支援

- 各町村観光協会の課題、広域観光ニーズの共有
- 観光・交流推進WGによる実証事業の検討(事業内容、実施体制、スケジュール、KPI等)及び実施支援
- 実証事業の次年度以降の展開の検討

#### <実証事業の検討ポイント>

ポイント1 「できることから、まずはやってみる」(議論→実証事業)  
ポイント2 「誰が、どのように続けるか」を議論(実証事業→議論)  
ポイント3 実証事業の段階などで、民間事業者の協働を図る

#### <実証事業の検討例(令和3年度検討内容から抜粋)>

【観光協会職員の相互交流・情報の共有】【インバウンド対応窓口の一本化】  
【レンタサイクルの相互乗り捨て(一部地域)、レンタサイクルマップ、料金体系統一(奥会津1 DAYPASS等)、只見線の利活用】 など

# 1 業務目的・業務概要

## ■「広域連携地域づくり検討会議」と「観光・交流WG」を連動して運営

### 業務スケジュール

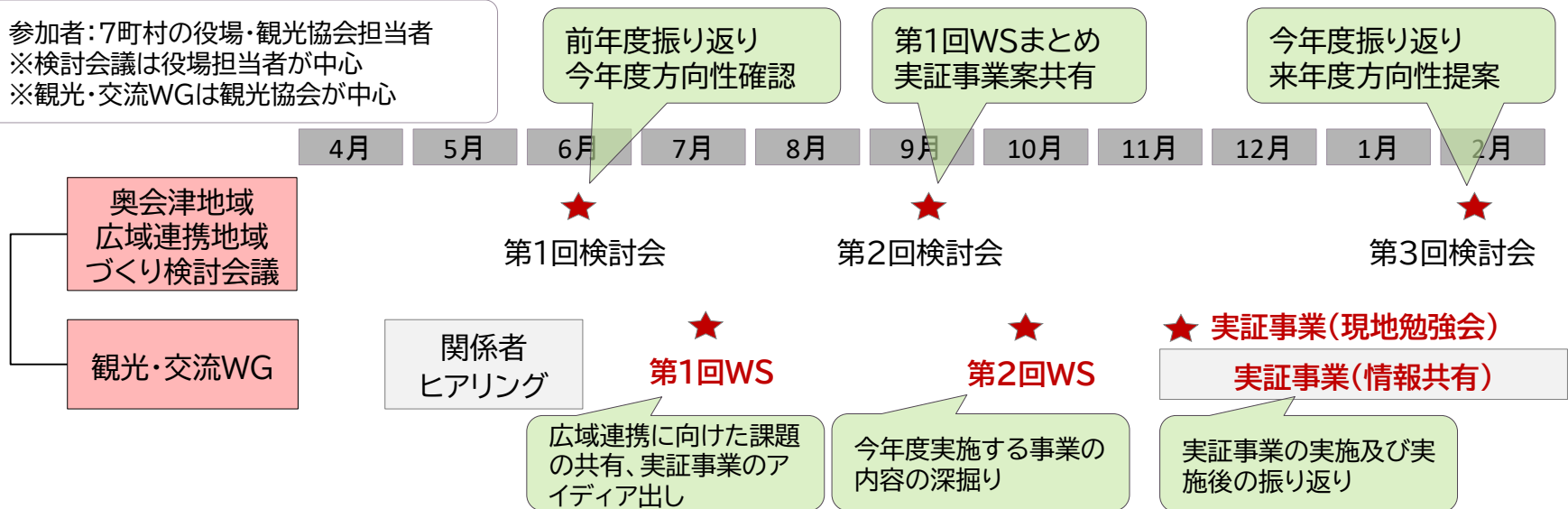
- ・令和4年度は、「広域連携地域づくり検討」を3回、「観光・交流WG」を2回を、相互に連動して議論する形で運営した。
- ・また、実証事業として奥会津地域の観光協会の相互連携を目的とした「現地勉強会※1」と「情報共有※2」の2事業を試行した。

※1「現地勉強会」・・・7町村観光協会担当者が奥会津地域内の観光資源をより深く把握することを目的とした相互視察会  
(第1回は金山町視察会として実施)

※2「情報共有」・・・7町村観光協会担当者によるLINEによる情報交換の仕組み、Webスケジュール管理ツール  
(カレンダー)によるイベントや季節情報の共有の仕組み

### 令和4年度の事業実施スケジュール

参加者：7町村の役場・観光協会担当者  
※検討会議は役場担当者が中心  
※観光・交流WGは観光協会が中心



## 2 広域連携地域づくり検討会議及び観光・交流WGの運営

## 2-1 実施概要

- 本事業の中心となる会議体として、「広域連携地域づくり検討会議」を設置。7町村の観光担当部署の係長、観光協会担当者等の参画を得て、全3回の会議を開催。なお、会議に先立ち、7町村へのヒアリングを実施した。
- 検討会議では、観光施策を中心に幅広い視点で各町村の課題、現在の施策等を収集・共有しながら、令和4年度以降の7町村による広域連携事業の内容、体制(広域地域づくりを進める組織(中間事業体)の検討、組織育成に向けての課題整理)を検討した。
- 実証事業に取り組む「観光・交流WG」は、検討会議と相互に連動する形で実施し、実証事業の検討、実施、振り返りを行い、検討会での共有を図った。

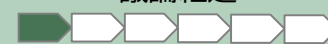
図 令和4年度(2022年度) 奥会津広域連携地域づくり検討会議・WSの開催概要

回	日時	場所	主な議事
ヒアリング 調査	5月下旬	7町村・観光協会	1. 各町村及び観光協会の現状、観光動向について 2. 令和4年度の取り組みについて
第1回 検討会議	2022年6月17日(金) 14:00~15:30	只見町只見振興センター 1階 集会室	1. これまでの経緯及び事業の方向性 2. 令和4年度事業の概要・スケジュール 3. 意見交換
第1回 WS	2022年7月20日(水) 13:00~15:00	昭和村喰丸小 2階 音楽室	1. 観光協会における広域連携に関する気付きや悩みの共有 2. 広域連携で取り組みたいことの見解交換・アイデア出し
第2回 検討会議	2022年10月12日(水) 10:00~11:30	昭和村喰丸小 2階 音楽室	1. 奥会津広域連携について(WGでの実証事業検討内容の共有・意見交換) 2. 各町村での新しい動きについて
第2回 WS	2022年10月12日(水) 13:00-15:00	昭和村喰丸小 2階 音楽室	1. 今年度・来年度事業案についての意見交換やアイデア出し 2. 今年度実施する事業の内容の深掘り
実証事業	10月中旬~	7町村観光協会	実証事業(情報共有):GoogleカレンダーやLINE等を活用して、互いに情報共有できる体制、すぐに連絡・相談できる関係性を構築する。
	11月29日~30日	金山町	実証事業(現地勉強会):金山町を訪問し、観光協会スタッフの案内で観光スポットを巡る。
第3回 検討会議	2023年2月2日(木) 13:30~15:00	昭和村喰丸小 2階 音楽室	1. 第2回検討会議の振り返り 2. 実証事業の経過報告 3. 来年度の取り組みについて



## 2-2 7町村ヒアリング

&lt; 議論経過 &gt;



検討会議、WSに先立ち、7町村の自治体・観光協会へのヒアリングを実施した。特に観光分野の広域連携として取り組む実証事業について、「観光協会連携」「インバウンド対応」「レンタサイクル」等について意見効果を行った。

図：7町村へのヒアリング概要(2022年5月下旬実施)

	観光協会連携 ※よくある問い合わせ ※他町村に関する問合せ対応	インバウンド	レンタサイクル	その他
柳津町	霧幻峡の渡しや山開き(他町村の山も含む)の情報。 道路、開花・紅葉のリアルタイム情報。	インバウンドは行政が担っている。台湾、タイ向けのWeb動画広告を配信。 センターとも連携。	振興公社(道の駅)、民間で取り扱い。 三島町との相互の乗り捨て実証実験を今年度実施。	「奥会津」として情報発信したい。 他町村の情報も知っていた方が 良いPRが可能だろう。
三島町	周遊ルート、周辺地域の問い合わせ。 観光案内所では複数町村パンフを設置。 リアルタイム情報は各観光協会を紹介。	只見線と橋梁等が人気。 レンタサイクル利用も活発。	2020年度利用者数は180名ほど。 柳津町との相互乗り捨ての実証事業を予定。 JRと連携した町内マップ作成。 景品がもらえるスタンプラリーを実施。	「奥会津」として情報発信したい。 レンタサイクルの保険を模索中。
金山町	大内宿等も含め、会津全般。 問合せにはできるだけ協会が調べて回答。	台湾の観光客が多かった。 問い合わせはまだ来ていない。	昨年度にマップを作成。 今年度から観光協会が6か所で乗り捨て実証事業。 運搬は軽トラだが負担は大きい。	現場に出る担当者同士が顔を合わせる必要性。
只見町	只見川流域全体の観光、道路等のリアルタイム情報。 只見インフォメーションセンタースタッフはLINEグループで情報共有。	センターと連携が主で積極的には取組んでいない。	E-BIKE(イタリア製)を10台程度導入。 レンタサイクル含め利用頻度は高くない。	只見線再開通に合わせた事業。 ガイド、各種イベント情報を広めたい。 只見川流域5町村と南会津、檜枝岐の双方から観光客が来る。
昭和村	南郷のヒメサユリ、水芭蕉、湿原等。 道路情報(会津若松方面、新潟方面等)。 各町村のHPやSNSから情報収集。	センターと連携が主で積極的には取組んでいない。	トンネルとスノーシェッドの安全が課題。 サイクルステーションは一箇所(喰丸小)。 レンタサイクル利用はまだ少ないが、人の動きを創りたい(ソフトをどうつくるか)	「奥会津」で観光客対応のレベルアップを図りたい。 温泉を自転車で巡ると面白い。 共通SNSアカウントが便利か。
南会津町	只見や新潟方面の交通情報。 三条・只見・南会津の円卓会議も実施。	南会津観光が対応(商品造成・仕入れの窓口)。	南会津のコースは人気。ただし、本格派向け。 田島一下郷間で乗り捨て可能なレンタサイクルを実施(会津鉄道による自転車輸送も)。 会津鉄道がサイクリストレインツアーを実施。	今年の前半はイベントの規模は縮小。 サイクルマップやサイクルコースは県の事業との連携も。
檜枝岐村	只見や新潟方面の交通情報。 尾瀬目的の観光客が多いため、道路、花の開花、宿の手配の問い合わせが大半。	センターと連携が主で積極的には取組んでいない。	コロナ前の利用者は年間200人ほど。 村内3か所で乗り捨て可(役場・観光協会が運搬)。 手拭スタンプラリーを計画。	地域産品については、希望する旅館まだ少ない。 リストだけではなく宿と農家の関係性づくりの場も必要。

## 2-3 第1回検討会議の議論内容

&lt;議論経過&gt;



## 令和4年度実証事業について

第1回検討会議では、7町村ヒアリング結果を基に観光分野の広域連携として取組む実証事業について、「観光協会連携」「インバウンド対応」「レンタサイクル」等について意見効果を行った。

- 「観光協会連携」については、ヒアリング調査結果を踏まえ「来訪者からの問合せは各町村で異なり、対応も様々」「問合せ内容の共有・連携した対応が必要(求められる情報を整理する)」といった方向性が報告された。その他、「会津方面からの観光客に対して奥会津全体の情報拠点にしたい(柳津町)」「観光協会職員に他町村の観光体験を推奨している(金山町)」「映画の舞台となったことの情報、交通情報の共有が必要(只見町)」といった意見が挙げられた。
- 「インバウンド対応」については、ヒアリング調査結果を踏まえ「各町村によって優先順位が異なる」「三島町、金山町、南会津を起点に奥会津を紹介する必要がある」といった方向性が報告された。
- 「レンタサイクル」については、ヒアリング調査結果を踏まえ「各町村では開始されたばかりで現状では利用頻度は低い」「ツールや安全体制もまちまちであり、奥会津共通のレンタサイクルの楽しみ方、安全体制を創る必要がある」といった方向性が報告された。また、「柳津町と三島町のレンタサイクルの相互乗り入れ実証実験を開始(柳津町・三島町)」「レンタサイクルによる他町村への移動は距離的に困難(昭和村)」といった意見が挙げられた。

## その他の広域連携の可能性

- 「農泊事業」について「コロナ禍の影響による農泊受入れ農家の減少(只見町、南会津町)」「新たに3軒が実施予定(金山町)」等、今後の農泊の広域連携について意見が挙げられた。
- 「物販事業」について「各町村で実施する物産販売事業における広域連携の可能性(金山町、南会津町)」について意見が挙げられた。
- その他、各町村連携による宿泊の促進(柳津町)、移住促進事業の開始(金山町)、只見線沿線の連携(金山町)、東武鉄道との連携(南会津町)、林道の活用による体験コンテンツ創出(只見町)等の意見が挙げられた。

&lt;議論経過&gt;



## 広域連携の事業化・予算化について

次年度以降、実証事業の本格的な実施に際しては、奥会津振興センター予算のみならず、各町村が事業予算を準備することも求められる場合も想定される(センター予算を継続できるのは長くとも3年程度と見込まれる)。そのため、将来的に各町村の予算による広域連携事業の実施も検討する必要があることから、各町村の予算検討のスケジュールや予算化に必要な内容等についての意見交換を行った。

- 予算検討スケジュールについては、8月後半ぐらいから議論開始、10～11月頃に当初予算として計上、12～1月に予算入力といったスケジュールであり、概ね各町村とも共通している。
- 2町村以上での共同事業の方法については、「実行委員会形式(各町村からの負担金徴収)」「代表となる自治体に対して委託料を拠出する」「受託者(〇〇協会、公社等)に対して、各町村が委託料を拠出する」といった方法が提示された。
- 課題としては、財政査定等の際に、既に奥会津振興予算を拠出していることに対して、あらたに各町村予算として拠出する必要性の説明が求められるといった指摘が挙げられた。これに対して、広域連携事業としての必要性・有効性の整理、財政査定時の指摘を乗り越えられるだけの計画づくり(序事業計画等の説明資料の作成)が必要であることが指摘された。
- 今後、実証事業の継続展開やあらたな事業創出の議論の中で、様々なパターンの事業予算化を想定し、柔軟に対応して事継続的な事業化を図ることが必要であることが指摘された。

## 2-4 第1回 観光・交流WG

&lt;議論経過&gt;



## 広域連携地域づくりワークショップ概要

第1回観光・交流WGでは、「これまで機会のなかった7町村の観光協会などの皆様の交流・意見交換の場をつくる」「観光協会での日々の業務や取組みの中で気づいたことや悩んでいること」等を7町村の観光協会で見聞交換しながら、「**できること**」を探し、「**まずやってみる**」ことを念頭に、広域連携による実証事業のアイデアを検討した。

## 第1回 観光・交流WG 概要(7月20日開催)

## 経緯

- 「100年続く奥会津」のために、奥会津7町村が何を連携していけば良いでしょうか？「奥会津地域広域連携地域づくり検討会議」では、「広域で連携できる事業」について議論し、具体化していくための議論を進めています(「**できること**」を探し、「**まずやってみる**」)。
- そのために、**観光客に向き合っている皆さんの意見やアイデアが非常に重要**です。

## 目的

- ① これまで機会のなかった**7町村の観光協会などの皆様の交流・意見交換**の場をつくる。
- ② 皆さんの日々の業務や取組みの中で気づいたことや悩んでいることを、**7町村のみんなで共有したり、一緒に取組んでみたいことについて**、意見交換やアイデアを出し合ってみる。

(意見交換テーマ例)

- ① 「観光客からの「奥会津(他町村)」についての問合せ」
- ② 「インバウンドの問合せや受入れ」
- ③ 「レンタサイクルをどのように上手に活用するか」

## 自己紹介等

- 1分自己紹介 自分+わがまちワンポイント紹介
- チーム分け

## 情報共有

- 他町村に関する問合せはありますか？どのようなリクエストが多いですか？
- レンタサイクルの利用状況を共有しましょう！
- どのように利用されていますか？困ったこと・緊急時対応は？利用者からのリクエストは？

情報共有  
しましょう！  
↓  
アイデア  
を出そう！

## アイデア出し

- 観光客やインバウンド客のリクエストに、こうすれば「奥会津」として対応できる！？
- レンタサイクルをもっとこうすれば「奥会津」全体で広まるのではない！？

## 発表

各班から出されたアイデアを発表・質疑

## まとめ

総評・次回について

## 令和4年度の広域連携事業の方向性(アイデア)

&lt;議論経過&gt;



2グループでの議論から、「奥会津広域観光案内のレベルアップ」「奥会津をより楽しむレンタサイクル」「ローカルな情報・体験」「二次交通の組み立て」の4つの広域連携事業のアイデア(方向性)がまとめられた。

## グループAの議論内容

## 奥会津広域観光案内のレベルアップ

## &lt;観光協会への問合せ・その対応&gt;

- 道路状況、積雪、田島－三島への道路情報、三島－柳津－金山－昭和など、広域連携も必要。
- イベント、祭り、植物の見頃(写真集－花の暦MAPはある)、食の情報などの問い合わせが多い。
- 会津等を含めたより広域の情報も求められる(白河、喜多方、あさぎ大根、県でスタンプラリーなどもある)
- 現在はパンフレットの配布やネット情報を提供。正確な情報は各協会などへの問合せをお願いしている。

## &lt;各町村の取組&gt;

- 各町村、協会が実施する各地への物産展の情報があると良い。
- 顔が見えないと、また各地町村を実際に訪れないと、情報の共有や気軽な情報共有する信頼関係が生まれない。

## &lt;奥会津広域での観光案内の仕組み&gt;

- 各観光協会でGoogleアカウントを持ち、Googleカレンダーで、各町村のイベント・催事、交通(通行止め、開通など)、花の開花・見ごろ、期間限定の情報を共有してはどうか。

## &lt;奥会津広域での問合せ対応の仕組み&gt;

- 各町村観光協会スタッフ等のグループLINEを設定し、即時的な情報や、観光客から質問を気軽に他町村観光協会に問い合わせる仕組みをつくってはどうか。

## &lt;奥会津の各観光協会の信頼関係づくりの仕組み&gt;

- 年に数回、各町村観光協会スタッフが他の町村を訪れ、実体験するバスツアーなど、実際に顔を合わせる機会が必要。

## 奥会津をより楽しむレンタサイクル

## &lt;レンタサイクルのニーズ(柳津、三島、金山、只見)&gt;

- レンタサイクル利用者は増加。三島町の利用者アンケートでは、アクセスの良さ、小回りがきく、思いがけない発見があるなどが利用の理由として挙げられている。
- 町内宿泊者には前日から貸出し(充電器付き)も実施。
- 只見川流域ではビュースポットや飲食を含めて短時間で廻れるコースが人気。

## &lt;各町村の取組&gt;

- コースや観光情報は各町村、センターで実施。
- 乗捨ての需要も以外と高い(2～3割)。柳津－三島など町村をまたぐ乗り捨ての実験も実施。柳津、金山では町内乗り捨ても実施。
- 只見線を活用した乗り捨てができていない。
- 利用者のけが等に備えて保険等の知識や実装も必要。

## &lt;町村内の気軽なコース設定のノウハウを共有&gt;

- 各町村でコースを設定し、MAP等を作成しているが、どのようなコースが良いか、どのような情報が求められているかを共有することが有効。

## &lt;町村を超えたレンタサイクル利用の仕組み&gt;

- 町村を道路でまたぐには通行が危険なルートも多い。
- 只見線に自転車を乗せることができ、乗り捨てができる仕組みが求められている。

## &lt;保険等の情報共有&gt;

- 利用者に参加してもらった保険などについて、先行している町村の取組を共有することが必要。



令和4年度の広域連携事業の方向性(アイデア)

&lt;議論経過&gt;



## グループBの議論内容

## ローカルな情報・体験

## &lt;ディープな情報の需要&gt;

- 地域側は有名観光地に関する情報を提供するが、観光客はもっとディープな情報を求めていることが多く、情報のニーズに答えられていない。

## &lt;地元住民との出会い&gt;

- 地域住民に偶然出会って親切にしてもらったり、困っているときに地域の人に助けてもらった経験を持つ人は、その経験が心に残るようである。奥会津は、そのような住民による親切がよくある地域である。

## &lt;住民によるガイドツアー&gt;

- 地元住民がガイドとなって、観光客をローカルな場所に案内したり、ローカルな情報を伝える。地元の人から地元の情報を得ることで、観光客にとっては滞在がより心に残るものとなり、再来訪意欲の向上にもつながる。

## 二次交通の組み立て

## &lt;使いにくい二次交通&gt;

- 電車の駅から道の駅をつなぐ二次交通が未熟で、電車を降りた観光客が足がなくて移動ができないケースがある。レンタサイクル、レンタカー、シェアカー等を電車と組み合わせることにより、鉄道利用の増加と滞在時間の充実を実現させる必要がある。
- 道の駅に置かれているレンタサイクルは、マイカーでの訪問客にパークアンドライドで活用してもらえるような仕組みが作れると良い

## &lt;駅からのレンタルサイクル利用促進実証実験&gt;

- 鉄道駅、道の駅から乗ることができるレンタサイクルやレンタカー、カーシェア等の仕組みを構築する。
- 鉄道駅が無人駅の場合は自転車の管理等が難しいため、工夫する必要がある。

< 議論経過 >



参考: 第1回観光・交流WGの様子



☆奥会津の観光案内の  
レベルアップ。  
(イ-ンターフェイス)

- Googleカレンダーで情報共有.
- LINEグループで気軽に問合せ
- 1日奥会津ツアー x クワ打  
ミバス

◎ 顔と会わせる事が大事

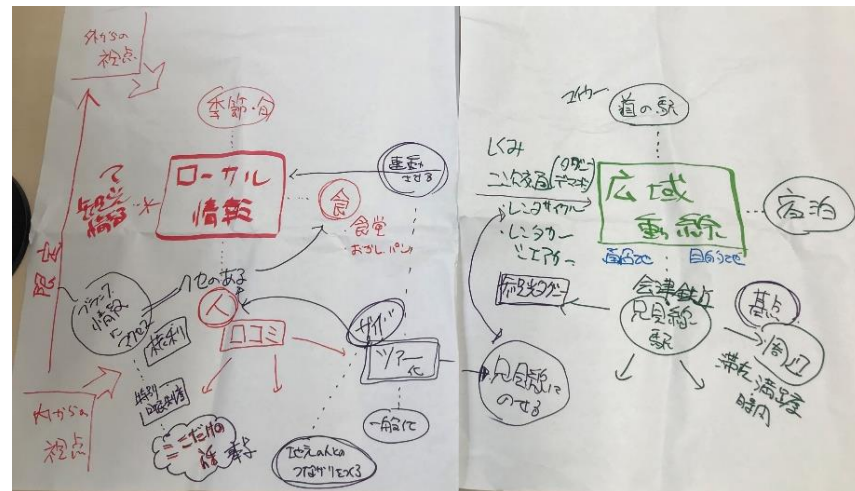
☆奥会津の楽しみ  
レジャーサイクル

① アクセス (馬場、宿、温泉)  
② 小回り、ちがいの  
③ 発見がある。

↓

- ・ のり捨ての石下.
- ・ 保険の石下.

・ 気軽コースの研究.



## 2-5 第2回 検討会議

&lt; 議論経過 &gt;



## 令和4年度実証事業の検討

第2回検討会議では、第1回観光・交流WGで出された方向性(アイディア)を基に、「奥会津7町村観光案内強化実証事業」「只見川流域4町村 レンタサイクル強化実証事業(柳津・三島・金山・只見)」「駅を基点とした二次交通構築事業」の3案を、令和4年度の実証事業計画として事務局から提示した。

検討会議では、事業の必要性・優先性や令和4年度内での実施可能性を考慮し、令和4年度の実証事業として「奥会津7町村観光案内強化実証事業」を中心に、観光・交流WGでさらに実施計画を検討し、実証事業として実施することとした。

## 令和4年度実証事業「奥会津7町村観光案内強化実証事業(案)」に関する意見(抜粋)

- 情報共有・共同での情報発信の必要性の**再確認**
  - 【柳津町】他町村関連の問い合わせに対応できないことがあるため、**最新情報をクリアに共有できるシステム**があると良い。相互に紹介できるような連携をしたい。
  - 【金山町】**細部の情報**を各町村で把握できるなにかがあれば良い。
  - 【只見町】他町村の問い合わせは来ていたし、他町村を巡りながら只見に来る人もいる。**他町村の情報を知ることがありがたい。**
  - 【昭和村】**情報の一本化**ができれば、観光客は一つのサイトを見るだけで良い。観光協会スタッフが知り合いになり、情報共有を前提に**顔を合わせて話**ができると良い。手始めに観光協会SNSを**相互フォロー**しても良い。
  - 【檜枝岐村】観光客に広域のルートを提案する機会もあった。**観光情報共有は必要。**
- その他の連携事業案
  - 【柳津町】**カーシェア**の広域連携実装
  - 【昭和村】**レンタカー**は、只見線の乗客を昭和村に誘客する手段の一つになり得るか。
- 観光協会連携の**方法**について
  - 【柳津町】**幹事団体の負担**が増えるのは良くない。観光協会が集まって運営する**意味**、既存事業との**違いの明確化**が必要(ローカル情報発信事業等)
  - 【金山町】**観光協会間の温度差**を埋める必要がある。来年度以降も**ある程度センターが音頭を取る**方が進めやすい(運営・予算両面)。
  - 【昭和村】**どこかの観光協会が音頭を取りつつ**皆が協力するのが早いだろう。センターがどこかの町村に**委託金**を出すのが、予算面ではやりやすいし見えやすい形になる。**事業の内容が明確**だと各町村も予算を出しやすい。WSの機会を持ち続けて**アイディア出し**をしたい。センターが絡まず観光協会同士で機会を作ってもよい。情報を一本化して発信する場合は、**仕組みの検討**が必要。(情報発信の主体/各町村HPは残すのか)
  - 【檜枝岐村】奥会津振興センターの**負担金**の中で事業を行う方が予算は通りやすい。



参考：第1回観光・交流WGを基にした事業計画(案)①

令和4年度実施案

事業名

・ 奥会津7町村観光案内強化実証事業

目的

- ・ 求められる情報を奥会津地域として提供するために、観光協会同士の連携体制を構築する。
  - ・ 奥会津7町村の観光協会などにおける、奥会津広域情報提供に向けた連携を、デジタル機能を活用した手法により強化し、奥会津地域全体の観光案内強化を図る(将来のインバウンド対応を見据えた連携強化)
  - ・ 一般的な観光情報だけでなくローカルな情報を観光客に伝える仕組みを「歳時記の郷」HP等を活用して構築し、ローカルな出会いにより奥会津での体験がより観光客の心に残り、リピーターが増えることを狙う。

内容

### <現状と課題>

- ・ 各協会には、他町村や奥会津全体の情報を求める観光客からの問合せが少なくない。またローカルな体験をした人の満足度は高い実態があり、ローカル情報の提供は奥会津の観光にプラスに働くと考えられる。
- ・ しかし現状では、他町村に関する問い合わせがあった際は、協会スタッフが情報を各自で調べて提供したり、該当町村の協会を紹介するといった対応が中心である。また一般的な観光情報のみを提供しており、観光客はローカルな情報にアクセスする機会がない。
- ・ 観光客に対して、求められる情報を奥会津地域として提供する連携体制が十分に構築できていないと言える。

### <本事業の内容>

#### －奥会津地域としての観光情報提供事業－

- ① 奥会津広域の観光情報(交通、花の開花・紅葉、イベント・祭り等)を7町村観光協会スタッフが登録・共有する無料カレンダー共有機能の効果的な運用を試行する(Googleカレンダー等)。
- ② 各観光協会スタッフが気軽に他町村観光協会スタッフに問い合わせや情報交換ができる無料グループウェア(LINEグループ等)の効果的な運用を試行する。
- ③ 各町村観光協会スタッフが、他町村の観光情報を実地に確認(体験)し、また相互に意見交換する奥会津体験・意見交換会(仮称)を試行し、効果的な運用を試行する(回数・内容・実施時期等)。

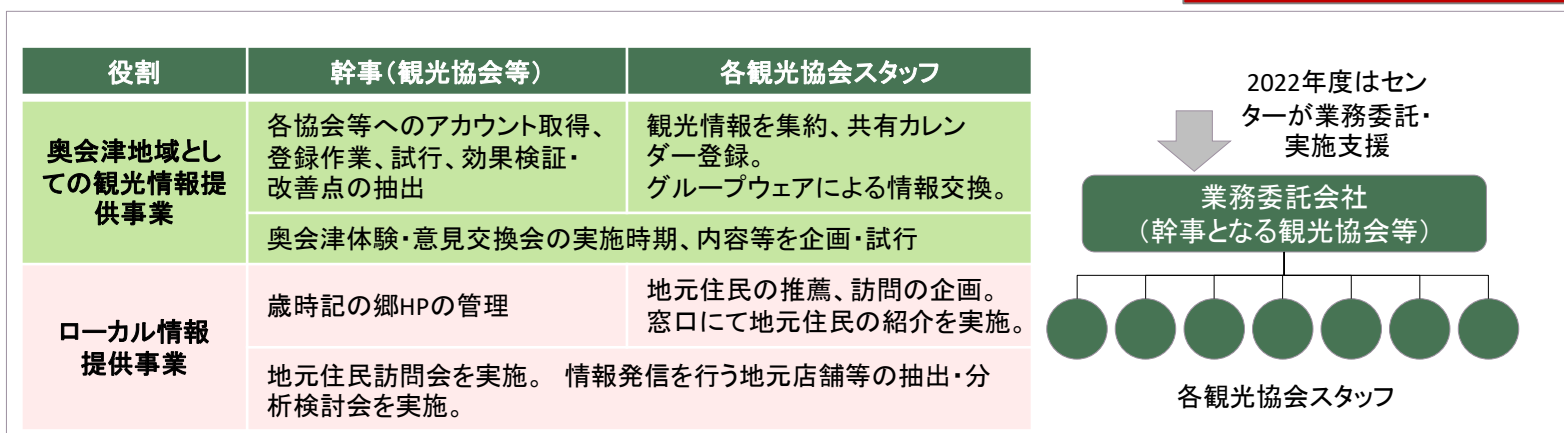
#### －ローカル情報提供事業－

- ① 各町村の協会職員が推薦した観光客対応に好意的な地元住民の元を訪れ、同意が得られた場合は「歳時記の郷」HPに掲載する。
- ② 観光客がローカルな情報(SNS、歳時記等)を基に訪れている地元の店舗や施設について、どのような伝達方法をとっているのか分析する。
- ③ 「歳時記やSNS」に掲載されたローカル情報を、協会窓口にて観光客に紹介する仕組みを構築・試行する。

参考：第1回観光・交流WGを基にした事業計画(案)①(続き)

令和4年度実施案

## 実施体制



## スケジュール

時期	奥会津地域としての観光情報提供事業	ローカル情報共有・発信事業
2022年11月	アカウント取得支援 カレンダー入カール策定	歳時記の郷HP編集体制整備 地元住民抽出
2022年11月	情報入力・共有、奥会津体験・意見交換会試行	実績・改善点抽出
2022年12月	実績・改善点抽出	歳時記の郷掲載・窓口での紹介の仕組みの検討(ガイドツアー試行)、 次年度改善計画策定
2023年1月	次年度改善計画策定	
2023年4月	情報入力・共有試行	
2023年6月	奥会津体験・意見交換会開催	
2023年9月	上半期実績整理・次年度計画策定	上半期実績整理・次年度計画策定
2024年2月	下半期実績整理・改善計画策定	下半期実績整理・改善計画策定

## 概算事業予算

## ー奥会津地域としての観光情報提供事業ー

幹事人件費：80万円(20000円/日×40日)

- ・アカウント取得支援、カレンダー設定、入カール策定、進捗管理、試行内容記録・改善点抽出、計画策定

奥会津体験・意見交換会費用：10万円

- ・マイクロバス貸切、会場費、一部宿泊費・体験費用補助

## ーローカル情報共有・発信事業ー

幹事人件費：80万円(20000円/日×40日)

- ・歳時記の郷HP経済情報収集、進捗管理、仕組みづくり検討改善点抽出、計画策定

- ・せどの森体験

試行時の地元住民謝礼：10万円(20000円×5人)

参考:第1回観光・交流WGを基にした事業計画(案)②

次年度以降再検討

## 事業名

只見川流域4町村 レンタサイクル強化実証事業(柳津・三島・金山・只見)

## 目的

- 各町村で取組むレンタサイクル事業の運用手法を共有・導入し合うことによって、レンタサイクル利用による奥会津観光の高質化、利用促進を図る(只見川流域町村が先行して試行。7町村で共有を図る)。

## 内容

## &lt;現状と課題&gt;

- 奥会津ではレンタサイクルが同時期に導入されたが、その利用手法の共有はされていない。また、町村をまたぐ利用など、観光客のニーズに必ずしも対応できていない。

## &lt;本事業の内容&gt;

- 各町村で導入中・検証中の実施内容(町村内の乗り捨て、町村をまたぐ乗り捨て、宿泊客への貸し出し、保険適用、クレーム対応等)を集約し、他町村での導入可能性を検証する(次年度導入を検討)。
- 只見線を活用した町村をまたぐレンタサイクル利用の導入について、実証的に検証する
  - 専用の袋に入れた電車内持ち込みの可能性(※解体の必要性)
  - レンタサイクル→駅(乗り捨て)・電車移動・駅→レンタサイクル等、町村をまたぐコース・貸し出し利用の可能性
  - 乗り捨て自転車の回収、費用・料金など。

## 実施体制

- 委託事業社を選定。各観光協会の実施内容等を集約・整理。次年度の導入可能性を検討。
- JR東日本、福島県等に対するヒアリングの実施(只見線利用の可能性等)。
- 町村をまたぐコース・貸し出し利用の試行、次年度導入の可能性検討。

2022年度はセンターが業務委託・実施支援

各観光協会(4町村で先行)

業務委託会社



## スケジュール

2022年度	11月 レンタサイクルルールの集約・整理、只見線を活用したレンタサイクルコースの検討	
	12月 町村をまたぐコース・貸出利用の試行、次年度導入可能性の検討	1月次年度事業整理
2023年度	時期未定 各町村でのレンタサイクル事業のバージョンアップ試行	
	時期未定 只見線を活用したサイクルコース、MAPの試行	

## 概算事業予算

幹事人件費:80万円(20000円/日×40日、各町村実施内容の集約・整理、JR等ヒアリング・とりまとめ、町村をまたぐコースの検討・試行、事件度計画とりまとめ)  
 実証実験費用:10万円(乗車時の必要機材購入(固定バンド、自転車専用輪行袋等))

参考: 第1回観光・交流WGを基にした事業計画(案)③

次年度以降再検討

## 事業名

## 駅を基点とした二次交通構築事業

## 目的

- ・ 鉄道駅や道の駅を、レンタサイクルをはじめ、将来的なレンタカー、カーシェア、電動バイク等の拠点として整備することで、奥会津地域共通の課題である駅からの二次交通利用環境を整備の可能性と実現可能な手法を実証的に検証する。

## 内容

## &lt;現状と課題&gt;

- ・ 鉄道駅からの二次交通が未熟で、電車を降りた後に足がなくて困る観光客がいる。
- ・ 道の駅に置かれているレンタサイクルがあまり活用されていない。
- ・ 将来的に、レンタカー、カーシェア、電動バイク等のシェアリングの導入を検討する必要がある。

## &lt;本事業の内容&gt;

- ① 鉄道駅における、レンタサイクル貸出の可能性を実証的に検証(スペース、貸出、管理、乗り捨て等)
- ② 将来的な、地域を周遊する際のレンタカー、カーシェア、電動バイク等のシェアリングの導入を検討する。

## 実施体制

※二次交通のWGでの検討内容と合わせて議論

## スケジュール

2022年度	10月検討会の開催、11月 各駅の環境を実地に検証・可能性検討 12月 検討会の開催
2023年度	1月次年度計画策定 4月レンタサイクル設置環境整備計画、6月:一般向け実証実験、9月上半期実績整理・次年度計画策定 2月下半期実績整理・改善計画策定

## 2-6 第2回 観光・交流WG

&lt;議論経過&gt;



## 令和4年度実証事業の具体化議論

第2回観光・交流WGでは、「奥会津7町村観光案内強化実証事業」を中心に、「実現が可能な事業案かどうか」「具体的にはどのように実施するか」「本当に効果が出るのか？さらに良い事業案や改善点はないか」等を検討し、①実証事業(情報共有)、②現地勉強会の2つの実証事業を実施することとした(詳細は後述)。

## 第2回 観光・交流WG 概要(10月12日開催)

## &lt;テーマ&gt;

事務局が作成した今年度・来年度の事業案について、意見交換やアイデアを出し合ってみる。

- 例) 実現が可能かどうか  
さらに良い事業はないか  
具体的にはどのように実施すれば良いか



## 令和4年度実証事業

## ①実証事業(情報共有)

- ・ LINE、Googleカレンダー等を活用した連絡網体制を構築
- ・ 使用ツールの利便性や効果を検証し、より便利で手軽な連絡網体制を模索(R4年度は、GoogleカレンダーとLINEの併用からスタート。LINE WORKSへの移行も試行し、プライベートなLINEとの分離も検討)

## ②現地勉強会

- ・ 互いの町村の視察研修会を開催(第1回として金山町にて実施)
- ・ 互いの町村の状況を知り、自町村での観光案内に役立てる
- ・ 観光協会職員どうしの交流を深める



## 2-7 第3回 検討会議

&lt;議論経過&gt;



## 令和4年度実証事業の経過報告・次年度の取組み

第3回検討会議では、実証事業(金山町での現地勉強会、観光協会の情報共有)について観光協会アンケートを基に、経過報告がなされた。また、次年度事業の取組についての議論がなされた。また、次年度の体制については、「観光協会間の連携」を継続することを中心に、広域連携地域づくり検討会議を継続することが確認された。

具体的には、「広域連携地域づくり検討会議」では、観光協会連携におけるアイデア出しとその実現の推進のため、広域連携の意義や将来像、基本方針や推進体制をまとめたビジョンを作成すること、また、他地域の視察研修会を開催して広域連携の在り方や手法を学ぶこと、「観光協会連携部会(仮)」を設置し、観光協会間の連携を継続するとともに、交流の中で生まれたアイデアをその都度センター予算や各町村の予算を用いて実現するという、機動性や各観光協会の主体性を重視した体制の構築を目指すこととした。

## 令和5年度の広域連携地域づくりの方向性(広域地域づくりを進める組織(中間事業体)の検討、組織育成へ向けての課題整理)

## 広域連携地域づくりの体制

## 奥会津地域広域連携地域づくり検討会議

- 継続のために、将来像を描く
- 広域連携の意義や将来像、基本方針や推進体制をまとめたビジョンを作成
- 広域で連携して観光に取り組む他地域の事例の視察研修会を開催

観光協会連携部会におけるアイデア出しとその実現の位置付けの明確化

## 観光協会連携部会(仮)

- 事業アイデアを議論し、その都度素早く事業を組み立て、実施する
- 7町村観光協会職員の相互交流、情報共有
- 各町村を訪れて互いの観光地を知る
- 交流の中で生まれた連携事業のアイデアを、センター予算や各町村の予算を用いて実現する(実証事業)

交流の中でアイデアを出し、必要な連携事業を実施

## 観光協会連携部会(観光協会連携の場の継続)

- 定期的に顔を合わせる機会を作る(観光協会連携会議の開催)
  - 気軽に情報交換ができる関係性の構築
  - 広域連携のアイデアが生まれる・実現に進みやすくなる
- 互いの町村の視察研修会を開催
  - 互いの町村の状況を知り、自町村での観光案内に役立てる
  - 観光協会職員どうしの交流
- LINE WORKS等を活用した連絡網体制の維持
  - 使用ツールを選び効果を検証し、より便利で手軽な連絡網体制を模索する
  - SNS、ITツールに関して、講師を招いて勉強会を開催(金山町視察研修会アンケートより)
- さらなる連携事業の検討
  - より良い奥会津地域の基盤づくり(連携したマーケティング調査、他地域の広域連携組織から、広域連携事業や広域連携手法の事例を学ぶ)
  - 広域情報発信・販売における連携(互いのイベントへの出店、旅行支援時の町村物産詰め合わせパック(1000円パック、10000円パック等)の相互販売
  - 写真スポットの共有・発信

参考：令和5年度の検討例（観光協会連携に向けたビジョン整理）

### ビジョンの背景・意義

#### 背景

- 広域連携の意義
  - ・ 「奥会津」の情報を得たい観光客のニーズに応える
  - ・ 連携することで効率的・効果的に進められる事業に取り組む

#### 意義

- ・ ビジョンを作成してその中に観光協会連携部会の取組を位置付けることで、観光協会連携部会が行動をとりやすくなる（迅速な決定・予算の確保等）
- ・ 観光協会連携部会において長期的な視点を意識するきっかけとなる

### ビジョンの内容

#### 将来像

- 7つの町村の観光協会が連携することでこうなっていきたいという将来像
  - （例）
    - ・ 7つの観光協会（の職員）が、観光客に対してどの町村の情報も話せる。また深い情報についても話せる。
    - ・ 7つの観光協会（の職員）が、広域連携のアイデアを行動に移せる。
    - ・ 7つの観光協会（の職員）が、互いに気軽に連絡できる関係性をもっている。

#### 基本方針

- 将来像の実現のために何をするかを示した基本方針やキーワードを定める
  - （例）
    - ・ 定期的集まる。
    - ・ 定期的に現地勉強会を開く。
    - ・ 広域連携で取り組むべき事業を企画・運営する。

#### 体制

- 実践のための体制を定める
  - （例）
    - ・ 観光協会連携部会には7つの観光協会（の職員）と各町村（の職員）が参加する。
    - ・ 定期的集まり、アイデアの提案・推進の場とする。

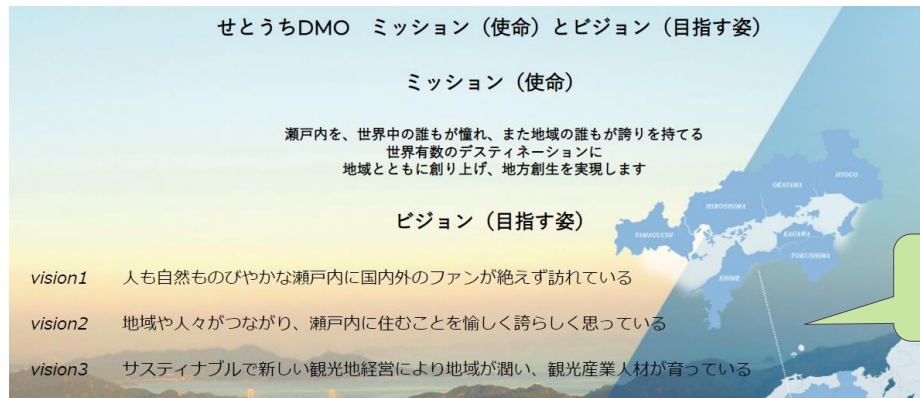
### ビジョンの作成方法（奥会津地域広域連携地域づくり検討会議の進め方）

- ・ WSを開催する（例）第1回：奥会津広域連携の意義の振り返り、将来像・基本方針に関するアイデア出し・議論  
第2回：第1回の意見をもとに事務局が作成したビジョンを手に取り、議論
- ・ 広域で連携して観光に取り組む他地域の事例の視察研修会を開催する（例：ちちぶおもてなし観光公社、秋田犬ツーリズム）

## 【広域連携ビジョン事例】せとうちDMO <https://setouchitourism.or.jp/ja/setouchidmo/>

### ● ミッション(使命)とビジョン(目指す姿)

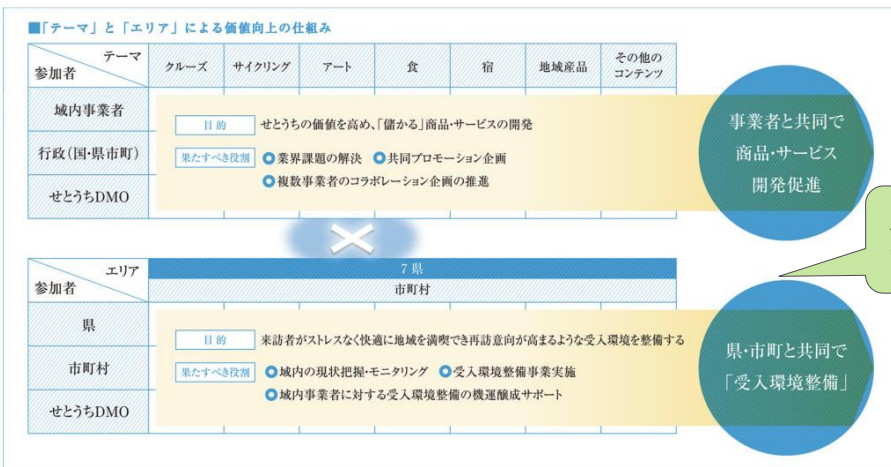
- ミッション(使命)とビジョン(目指す姿)をわかりやすく提示して、共有している。



「どのようになっていきたいか」という姿・状態をビジョンとして提示

### ● マネジメント体制

- 取組の体制を示すことで、事業を体制の中に位置づけられるようにしている。





## 【広域連携ビジョン事例】八王子まちなか 景観みらいものがたり ～実現させたい未来のおはなし～

### ● ワークショップの実施

- ・ 何度もワークショップを行いビジョンを作成

#### 景観絵本の作成経過

2021年3月29日 第1回ワークショップ  
「まちや通りでの過ごし方」

中心市街地のいまについてのトークセッションを聴き、八王子駅周辺のストリートや公園などで実施したいアクティビティを語り合いました。

2021年5月・6月 参加学生有志  
「まち歩き・まち調べ」

このエリアで大切なことは「水・緑」「歴史・文化」「にぎわい」という仮説をたて、実際にまちを歩き課題や魅力がしをしました。

2021年7月6日 第2回ワークショップ  
「まちの価値」

学生さんから、八王子まちなかの価値を提案！この提案への賛意（いいね！）が、キーワードにつながりました。

2021年11月15日 第3回ワークショップ  
「未来のイメージスケッチ作成」

色塗りワークを通して、エリアで磨きたい価値（4つのキーワード）の魅力を盛り込んだスケッチを作成しました。

2022年2月9日 第4回ワークショップ  
「実現方策の検討」

イメージスケッチの実現のために何ができるか、行政職員が自由に考えてみました。

2022年7月 景観絵本提案  
「八王子まちなか 景観みらいものがたり」

これまで積み重ねてきた考えや想いを多くの人と共有するため「絵本」として提案しました。



地域について考える中で、計画の骨子を作成



行動の具体案を提案



つづく

### 地域について考えた成果

3 まちなかの価値とは

まちの見方を変えたら、まちの価値に気づきました！

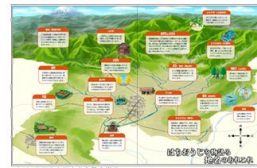
まち歩きやまち調べを通して、このエリアでは次の要素が大切な価値であることがあらためて気づきました。

歴史・文化 ……桑都として発展してきた歴史  
水・緑 ……オール八王子の丘陵地、河川にぎわい ……町人が集いた市民力  
みちのつくり ……甲州街道を軸とした町割形成

戦後に放射線状の道路が付加

行政計画では北が上で駅を中心とした地図による表現をよく見かけますが、歴史・文化・緑・水の軸でまちを捉える計画では、下図（イ）、右図（ロ）のように西を上にした向きで、周囲の丘陵地が立体的に描かれています。さらに古い文脈（ハ）でも、八王子十五郎から山を望む景色を描いていました。

景観絵本でもこれらの視点を使い、P2-3、P30の図を作成しました。まちの見方を変えることで、八王子で眠っていた大切な価値に気づきついでほしいと願っています。



(イ) 八王子市歴史文化基本構想

### 計画のキーワード

4 八王子プライドを高め、八王子ファンを増やすために  
地域で暮らす人のための、八王子らしい空間づくり

**桑都プライド**  
老物や山車が似合う「桑都」にふさわしい統一感を演出することで、八王子が誇る萬物の文化、町人の歴史、まつりの伝統が日常で感じられる。

**まちなか公園化**  
周辺の豊かな緑や水辺をまちなかの通りや店先などの余白に引込みつなぐことで、自由気ままにくつろげる公園のような心地よさが感じられる。

**ウラ八王子**  
すっきりと整った見通しのよい表通りの一方で、知る人ぞ知る創業工夫のある個性を表現し、集積させることで、歩き回りたいくなる「ウラ」の魅力を創出する。

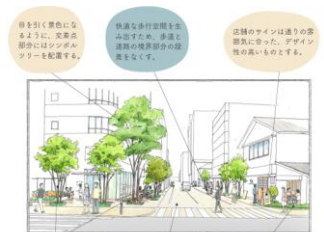
**市街地の自由空間**  
八王子らしい新しい事業や取組みに挑戦することで、日常的に地域の人々や物産が集い、新たな価値が生まれる場を創出する。

まじりのある表通り、すっきりと整ったまち歩み、見え隠れする緑、品格のある老舗軒、個性のある店舗の集積、伝統的な街路樹、高格のある老舗軒、個性のある店舗の集積、週末だけの賑わいスポット、日常的に開かれる市、伝統的な街路樹、週末だけの賑わいスポット、日常的に開かれる市、日常的に開かれる市、まじりのある表通り

### 行動の具体案

STEP 7 「緑と創業工夫が新たな魅力を生み出すウラ通り」

新たな集積多層的に計画し、各店の個性や特長を表現しつつも、デザイン性の高いデザインや統一感など、創業工夫のある演出で、知る人ぞ知る八王子の新しい魅力が生まれ続けるウラ通り



目を引く景色になるように、表通り部分にはレンガ舗装を施す。

歩道も歩行者優先を考慮し、歩道の境界部分の緑を多量に植える。

店舗のサインは通りの景観にふさわしいデザイン性の高いものとする。

「ウラ」の魅力を多層的に表現するため、店舗の個性や特長を表現し、集積させる。

個性に富み重みのある魅力的な空間を生み出すため、店舗の個性や特長を表現し、集積させる。

イメージ実現のための取組

- ・ 歩道舗装の工夫
- ・ 緑化の工夫
- ・ 店舗の個性や特長を表現するルールを定める。
- ・ 道路や建物前面スペースの活用、店舗等の「ウラ」の魅力を表現する。
- ・ 歩道や緑地等の緑、空の活用を推進する。
- ・ 公道の空きビル、空き店舗等の活用方法を考える。
- ・ まち歩き、原心集いのイベント開催の推進方法を考える。

3

## 実証事業の実施支援

## ■ ツールを活用した観光協会職員同士の情報共有と現地勉強会(金山町)の実施支援

### 3-1 実証事業支援の概要

- 令和4年度の実証事業は、検討会議や観光・交流WGでの議論を経て、①実証事業(情報共有)、②現地勉強会の2つの実証事業が実施された。
- これらの実証事象の支援としては、WG運営を通じた事業実施主体に対する助言・事業展開支援、先進事例紹介、KPI設定(実証実験後の満足度・継続意向)と実施後のアンケート調査による効果検証を行った。

#### 令和4年度実証事業の概要

##### 背景

- 令和4年度の実証事業は、観光客から他町村の観光情報に関する**問い合わせ**を受けることが多いが、情報を知らないため**対応できない**(開花情報、道路情報等リアルタイムの情報、観光スポットへのアクセス等細かい情報、などを含む)
- 他町村の観光協会職員との**交流機会が少ない**ため、**気軽に連絡することが難しい**。そのため対応できない問い合わせがあった際に**相談しにくく**、また広域連携により**効率的に対処できる課題に取り組めない**。

##### ①実証事業(情報共有)

###### <ツールを活用した観光協会職員同士の情報共有>

- 第1回、第2回WGでの議論の結果、Google カレンダーを活用して**スケジュールを共有**し、またLINEを用いて**気軽に連絡を取れるように**した。
- 金山町現地勉強会での意見交換の際、Googleカレンダーへの入力の手間である、LINEでは本名がわかりやすいしプライベートと仕事が混同されてしまう等の意見が得られた。
- 実証実験期間中にLINEではなくLINE WORKSを用いる、Googleカレンダーでのスケジュール共有は一旦取りやめ、SNSで共通のハッシュタグ(#歳時記の郷)を用いて発信することで互いの情報をすぐに確認できるようにする等の改善を行った。

##### ②現地勉強会

###### <金山町現地勉強会>

- 金山町を訪問し、観光協会スタッフの案内で町内の観光スポットを巡ることで、**互いの観光地に対する理解を深め**、同時に**参加者同士の交流**を図った。
- 参加者の満足度は非常に高く、令和5年度以降は金山町以外の町村でも同様の勉強会を行うことを計画している。
- 議論の中で、新たな連携事業のアイデアも生まれた。

- 金山町現地勉強会は、金山町観光物産協会を中心に2日間の行程を計画した。
- 1日目(29日)は9名、2日目(30日)は10名の参加者にて実施された。
- 移動は金山町観光物産協会が令和4年度より事業化したレンタカーを活用した。

## 金山町現地勉強会の概要

月日	地名	到着時間	出発	行程	備考
11月29日	川口	11:00	12:00	意見交換会	金山町開発センター
	中川	12:10	13:00	昼食(ヒメマスを使った押し寿司弁当)	
	早戸	13:15	14:00	霧幻峡の渡し	45分周遊
	沼沢	14:20	14:40	沼沢湖散策	
	沼沢	14:40	15:00	沼御前神社	
	太郎布	15:10	15:30	大志俯瞰行き方説明・アザキ大根説明	
	川口	15:40	16:10	駅周辺説明・レンタサイクル説明	会津川口駅
	玉梨or小栗山	16:30		宿泊施設着	
	玉梨	17:00	18:00	炭酸温泉	せせらぎ荘
	玉梨or小栗山	18:20		解散	
11月30日	玉梨	9:00	9:30	玉梨とうふ茶屋	
	川口	9:45	10:00	玉縄城跡トレッキングコース入口	
	大塩	10:20	10:45	大塩天然炭酸場	
	滝沢	10:50	11:10	第7只見川橋梁一熊野神社	
	東北電力奥会津水力館	11:30	12:30	意見交換会	
				解散	



## 金山町現地勉強会の概要



東北運輸局を交えた  
意見交換会



「霧幻峡の渡し」の体験



沼沢湖散策



会津川口駅の周辺・  
土産物販売スペース見学



「玉梨とうふ茶屋」での試食



金山の炭酸水を生み出す  
炭酸場の視察



只見線のフォトスポットの  
視察




意見交換会

## 3-2 実証事業の効果検証

- ・ 金山町現地勉強会実施後にアンケート調査を実施。参加者10名中、10名から回答を得た(回収率100%)。

参考: 金山町現地勉強会アンケート調査 調査票

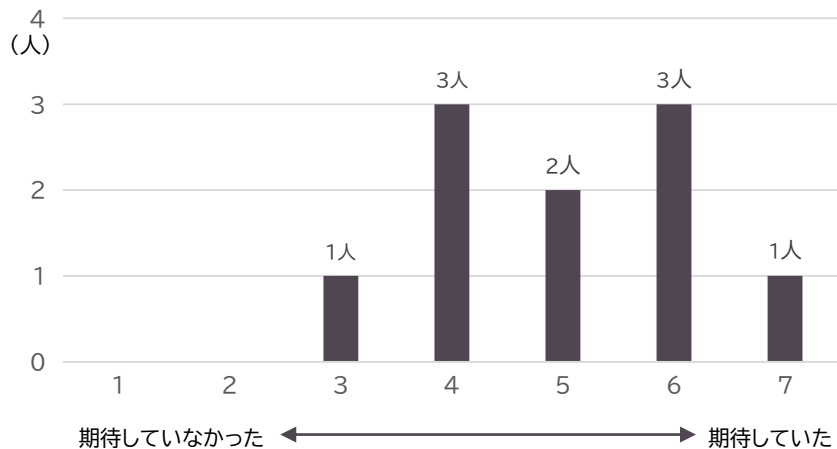
<p>—奥会津地域広域連携地域づくり—</p> <p><b>7 町村観光連携視察研修会 in 金山町 アンケート</b></p>	<p>オンライン回答もOK!</p> 
<p>この度は7町村観光連携視察研修会in金山町にご参加いただき、ありがとうございます。 今後の視察研修会及び広域観光連携の取り組みに活かすため、今回のご意見やご感想をお聞かせください。</p>	
<p><b>1. ご所属・お名前をご記入ください</b></p> <p>ご所属 <input type="text"/> お名前 <input type="text"/></p>	
<p><b>2. 金山町視察研修会についてお聞きます</b></p> <p>(1) 今回の視察研修会にはどの程度期待していましたか</p> <p>期待していなかった <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 期待していた</p> <p>回答の理由 ( <input type="text"/> )</p> <p>(2) 参加にあたって期待していたことはなんですか？またその理由を教えてください 例：観光客からの問い合わせに対応するため、金山町の観光情報を把握したかった</p> <p><input type="text"/></p>	
<p>(3) 今回の視察研修会で印象に残ったこと(場所や出来事)はありましたか。またその理由を教えてください。</p> <p><input type="text"/></p>	
<p>(4) 今回の視察研修会に参加してよかったことはありましたか。またその理由を教えてください。</p> <p><input type="text"/></p>	
<p>(5) 今後、観光客からの金山町に関するお問い合わせの際に、今回の視察研修会の経験は日常業務に活かせますか。また、どのような点が活かせますか。</p> <p><input type="text"/></p>	
<p>(6) 今回の視察研修会で訪れたところ以外に、金山町で訪れたい視察先があれば、ご記入ください(観光客のお問い合わせが多いところ等)</p> <p><input type="text"/></p>	
<p><b>3. 今後他の町村でも同様の視察研修会を開催することを検討しています</b></p> <p>(1) 今後もこうした視察研修会を続けたいと思いますか</p> <p>続けないで良い <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 続けたい</p> <p>回答の理由 ( <input type="text"/> )</p> <p>(2) 今後、視察研修会で視察したい場所や出来事はありますか (理由とともにお答えください)(ご自身の町村も含めてお考えください)</p> <p><input type="text"/></p> <p>(3) 次回の視察研修会で期待することはありますか 例：視察にあわせて勉強会を行いたい、もっと長い日程が良い</p> <p><input type="text"/></p>	
<p><b>4. 今後の観光広域連携の方向性についてお聞きます</b></p> <p>(1) 今後、視察研修会の他に他町村と連携してやってみたいことはありますか</p> <p><input type="text"/></p> <p>(2) その他ご意見やご感想がございましたらご記入ください</p> <p><input type="text"/></p>	
<p>ご協力ありがとうございました！</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>観光協会スタッフの共有 Google カレンダーや LINE グループを作っています。 今回一緒に一緒した方々との情報交換などに、ぜひ活用ください！！</p> </div> <p>【お問い合わせ・ご提出先】 奥会津振興センター(鈴木) MAIL: <a href="mailto:tdrsk@okuaizu.net">tdrsk@okuaizu.net</a> 公益財団法人日本交通公社(山本) MAIL: <a href="mailto:vamamoto@jtb.or.jp">vamamoto@jtb.or.jp</a> FAX: 03-5770-8359</p> <p>【アンケート提出〆切】12月7日(水)</p>	

## 3-2 実証事業の効果検証

## ● 当初期待に比べ、非常に強い継続希望につながった

- 金山町現地勉強会の実施前の期待と実施後の継続意向を比較すると、実施後の継続意向が顕著に高い結果となった。

## ● 今回の視察研修会にはどの程度期待していましたか



## 【回答の理由】

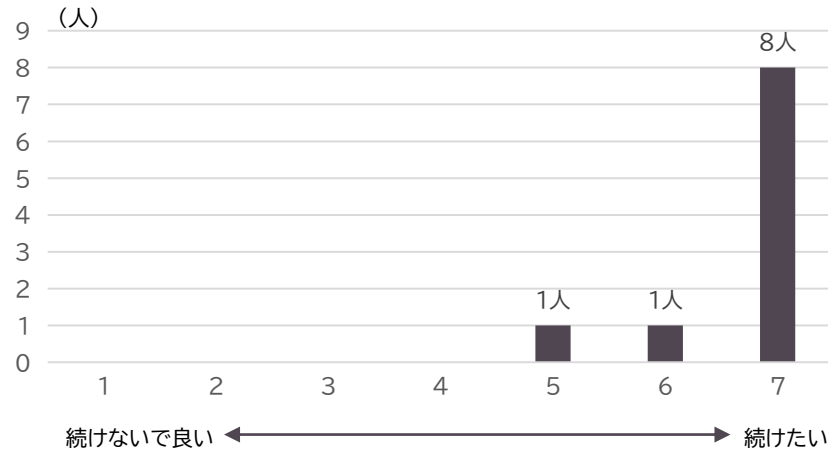
## &lt;期待していた理由&gt;

- これまで金山町は通過するのみだったため、**深掘り出来る良い機会**だと考えました。
- 普段はなかなか観光客目線で訪れることができないため。
- 初めての試みでもあり、**なかなか行けない金山町**だった為。
- 隣町だが、**行けていなかった観光施設**もあったため。
- 楽しみに**していましたが、**緊張**もしていました。

## &lt;期待していなかった理由&gt;

- 初めての開催が金山だったため、**どうなるか心配**だった
- 知識が乏しかった**ため

## ● 今後もこうした視察研修会を続けたいと思いますか



## 【回答の理由】

## &lt;継続したい理由&gt;

- とても良いタイムスケジュールの中で参加できた。柳津はコンパクトな観光地ですので、半日ほどあればご紹介が足りてしまいますが、今回のように**2日に分け、気持ちにゆとりがある中での視察はとても良かった**。
- 他町村の方とも**交流**をしながら、現地で説明を受けて気になるところは質問して、刺激にもなり勉強になるため。
- 他の町村の詳しい内容がわからないため。またツアー造成の勉強になる。
- 奥会津というブランディングで売るなら**お互いの理解の醸成は必要**だから
- 大変有意義な時間**を過ごすことができたので。
- 各町村の観光地、そして職員の方々との**交流を深めるいい機会**となるため。
- パンフレットなどで知っているだけの状態と、**実体験**をしたことがある状態では、観光案内をする上での説得力が大きく違ってくるので、ぜひ**継続して実施**したいです。
- お互いの観光協会の**顔を知る**良い機会になるため
- 他の地域のことも**知り**たいです。
- 観光客からすると、只見線で一括りに思われるので、**他の町村の事も聞いてみたい!**



## ■ 視察研修に期待していた内容

- 視察研修に期待していた内容は「観光客のニーズや情報の把握」「実体験から得られる理解」「連携・親睦の機運醸成」等が挙げられた。

- 参加にあたって期待していたことはなんですか。またその理由を教えてください

- 金山町独自の観光資源の詳細を、**体感**することによって理解できることを期待して参加いたしました。
- 実際に行ってみてのイメージを持っていると問い合わせがあった場合に案内がしやすいと思われるため、**観光パンフレット**やHPだけではわからないような**観光情報**も併せて知りたかった。
- 各町村からの質問**
- 観光客が何を求めて訪れるか**知りたかった
- 人気上昇中の霧幻峡の渡しや只見線全線運転再開後の只見線周辺の**状況を把握**したかった。
- 観光地の**把握**と只見沿線の**把握**。
- 観光協会間の**連携・親睦を深める**機会となること、および金山町の観光資源を**実地で体験**することで観光客の方により適切な案内ができるようになること。
- 三島町にも問い合わせがある霧幻峡の渡しを**実際に体験**し案内できるようになるため。当町でも課題になっている二次交通対策について、金山の**先進事例**(レンタカー、レンタサイクル乗り捨て)を確認したかったため。
- 金山町を**知りたかった**です。霧幻峡の渡しの**乗舟**も楽しみにしていました。
- 只見町の隣町でもある金山町の問い合わせは多いので、観光案内をするにあたって**情報を確認**したかった。

## ■ 視察において印象に残った内容

- 視察において印象に残った内容は「実体験(特に霧幻峡の渡し、玉梨豆腐茶屋)」「金山町観光物産協会の運営や業務に関する話」「観光協会職員同士の「本当の話」」であり、視察にとどまらない、深い交流の効果がうかがえた。

- 今回の視察研修会で印象に残ったこと(場所や出来事)はありましたか。またその理由を教えてください。

- 霧幻峡の渡しを**実際に体感**できたことは大きかったです。
- 玉梨豆腐茶屋(理由:**店主が楽しい方**で試食もとても美味しかったので笑)
- レンタカーでの移動。懇親会を開催しなかったため、そのぐらいいいか**本当の話**ができなかったため。
- 霧幻峡の渡し **実際に体験**できて誤解していた部分や人気の理由がわかった
- 金山町観光物産協会**が、霧幻峡の渡しの運営、そして船頭さん業務を行なっていること。
- 霧幻峡の渡しが、素晴らしかったです。なかなか**体験**することの出来なかった事だったので、とても今日でした。個人的にもグリーンシーズンや紅葉シーズン時にまた訪れたいです。
- 霧幻峡の渡し:初めて乗りましたが、思った以上に素晴らしい景色が楽しめて、霧幻峡の**魅力が体験**できました。  
金山町観光物産協会のプレゼンテーション:**収益額**が想像以上に大きかったこと。
- 霧幻峡の渡しについて。風景もすばらしいが、**船頭のトーク**も大きな魅力だと感じた。
- 霧幻峡の渡し。乗舟でき、**実際にこがせて**もらえたこと。玉梨豆腐屋さん。とても**おいしく、感動**しました。チョウザメがいたことも驚きました。
- 2日目のみの参加でしたが、「大塩の炭酸水」の場所は、とてもきれいに整備されていて、冬の間も除雪されるという事なので、**案内にも役にたちそう**です。



## ■ 参加して良かったこと

- 参加して良かったことについては、「金山町の観光資源についての深い理解・新たな理解」「他町村とのコミュニケーション」が挙げられた。
- 今回の視察研修会に参加してよかったことはありませんか。またその理由を教えてください。
  - 金山町の観光資源について理解が深められたほか、各町村の考えや視点を共有できた点が良かったと感じます。体験型の視察であったこと、ディスカッションの場があったことが特に大きかったと考えます。
  - 実際に観光スポットを見ながら説明を聞くことでイメージが残り、人へ案内しやすくなったと感じたこと。今後の連携がしやすくなるため、移動中や視察中に他町村の方とお話して交流できたこと。
  - 各町村とのコミュニケーション。普段業務をしているときはなかなかできないので。
  - 表面的なイメージだったものが、直接案内いただいたことで、距離感や時間感覚も理解できた
  - 周辺地域の観光従事者の方々とお会いすることができたこと。金山町の最新情報及び深く知ることができたこと。東北電力奥会津水力館を見学できたこと。
  - 近隣の町ではあるが、なかなか訪れる機会もなかった為とても貴重な研修会となりました。日帰りもできる距離ではあるが、宿泊できたのも良かった。
  - 大志集落俯瞰撮影ポイントへの入口や、玉縄城跡など、なかなか行く機会がないところにも行けたこと。
  - 三島町以外の只見線の絶景を知ることができて良かった。当町の第一・二・三橋梁と併せて今後PRしていきたい。
  - 他の地域の方々に会え、それぞれの地域の話が聞けたので、とても勉強になりました。

## ■ 今後活かせる点

- 今後活かせる点については、「実体験に基づいた案内ができる」「距離感、時間間隔、行き方等の詳細情報をお客様に伝えられる」「おすすめしやすくなった」等、広域での観光案内に効果高いことが伺えた。
- 一方、「一度の訪問・体験では浅い案内になる」等、現地勉強会の継続意向も見られた。
- 今後、観光客からの金山町に関するお問い合わせの際に、今回の視察研修会の経験は活かされますか。また、どのような点が活かされますか。
  - 今回の研修は、今後の観光案内に大いに活かせると思います。玉縄トレッキングに関しては当協会が把握可能していなかったのも、大きな収穫でした。お客様に各観光資源の詳細をお伝えできる他、実際に体感した感想なども交えながらご紹介できると思います。
  - とても活かせると思う。行き方や駐車場がどうなっているかなどの案内は実際に現地に一度行っているのといないのでは、案内の内容が全然違うと思われる。
  - 金山のためなし。
  - 距離感、時間感覚、簡単な説明程度は案内に活かせると思いました
  - 金山町の主要観光スポットを把握することができたので、今後の観光案内業務に活かれます。
  - 1度目の金山町訪問となるので、浅い知識でのご案内になる。素直に金山町観光協会に繋いでもらうのが一番お客様に対して親切な対応になると思う。
  - 今後は実体験をもとに案内できるようになるのが大変よかったと思います。
  - 霧幻峡の船着き場にも行ったことがなかったため、国道からの行き方(降り方)を具体的に案内できるようになった。
  - 今後、活かせると思います。実際に体験したり、案内していただいたことで、案内しやすくなり、又、おすすめしやすくなりました。
  - 只見線を撮るのに、フォトスポットを教えてください、とよく言われるので、第7橋梁を案内したりしますが、車を正面から撮れる場所を確認できたので、良かったです。

## ■ 金山町で訪れたい他の視察先

- 金山町で訪れたい他の視察先では、「写真スポット・絶景スポット」「妖精美術館、神社、温泉、おう穴群、三更廃村集落」「農家民宿やゲストハウス」等が挙げられた。

- 今回の視察研修会で訪れたところ以外に、金山町で訪れたい視察先があれば、ご記入ください（観光客のお問い合わせが多いところ等）

- 時期が合えば、**妖精美術館**へ訪れてみたいです。また、今回は訪問が叶わなかった**各神社**についても、内部を拝見したいと思っています。
- 全線再開通により**新たに只見線の写真スポット**となっている場所
- 金山のためなし
- 7つある**温泉地**
- **星賢考氏**おすすめの**写真スポット**での撮影。
- 今回、行けなかった**おう穴群**は行ってみたい。
- **農家民宿やゲストハウス**
- 今日紹介された場所以外の**只見線の絶景スポット**
- **三更廃村集落**の散策。**只見線**。**大志俯瞰**。

## ■ 視察したい場所や出来事

- 今後、視察したい場所や出来事については、「個性的な人とのふれあい」「各地域おすすめの観光コンテンツ、観光スポット、郷土食等の体験」等、見る観光にとどまらない、人との交流や食等の体験のニーズが伺えた。

- 今後、視察研修会で視察したい場所や出来事はありますか（理由とともにお答えください）（ご自身の町村も含めてお考えください）

- 今回訪問させていただいた玉梨とうふ茶屋のご主人のような、**個性的な方と触れ合えた**ことはとても良かったと感じています。柳津町で喩えると、金子勝之氏のようなパワフルな方が、打町村にもいらっしゃるかと思しますので、ぜひぜひお会いしてみたいと考えています。
- **檜枝岐歌舞伎、第一只見川橋梁ビューポイント(三島町)**
- **柳津観光船、南会津・檜枝岐全般**
- **只見町、檜枝岐村** 隣接していて問合せが多いため
- **各地域おすすめの体験型コンテンツ**を体感したいです。また、インバウンド対応可能な「**ゲストハウス**」の見学もしてみたいです。
- **各地域の一推しの観光スポット**を視察したいです。その際、ここが一押し！としてもらえることも嬉しいです。
- まずは今回同様、**各町村から推薦の場所**を視察できればと思います。
- **檜枝岐村**。観光産業が発達しており、人口が少ない中でも過疎問題に上手に向き合っているため。**三島町**。当町の観光について、客観的な意見をいただける良い機会かもしれません。
- **前沢曲家集落**。**各地域の穴場スポット**や**郷土食**を知りたいです。
- **柳津町**といえば、虚空蔵様と、栗まんじゅうくらいしか知らなく、一般の観光客と同じくらいしか知識がないので、もう少し詳しく知りたい！

## ■ その他(自由回答)

- 今回の現地勉強会について、「深い情報を得ることができ、大変勉強になった」「次回も参加する」等という好意的な感想が得られた。
- 一方、「**機会を逃さず、スピード感を持って広域連携の事業に取り組むべき**」といった、今後の取組に対する前向きな意見も得られた。

## ● その他ご意見やご感想がございましたらご記入ください

- 2日間の視察、大変お疲れ様でした。**勉強になりつつ、ひとつの旅として楽しむことが出来ました**。金山町観光物産協会様を始め、今回の視察に関してご尽力いただきました皆様へ、貴重な機会をいただき、深く感謝いたしております。ありがとうございました。
- **パンフレットだけではわからないような情報**をたくさん得ることができた有意義な研修会になったと感じている。
- 拙い案内・行程で申し訳ございませんでした。少しでも他町村のお力になればと思います。また、全てがもっと早くていいと思います。**販売機会はそのときしかありません**。今更合意形成とか言ってる状況ではないと思います。
- 特になし
- 玉梨温泉「恵比寿屋」さんの料理、温泉とも大変良かったです。近隣で**宿泊**をすることはあまりないので、**大変良い経験になりました**。ありがとうございました。先日南会津町で初雪が降り、前沢曲屋集落の写真や動画を#歳時記の郷を付けて投稿しました。**いいね、フォローしていただければ幸いです**。
- 貴重な機会をありがとうございました。**ぜひ次回も参加したい**と思います。
- 実施に当たってご準備いただいた皆様ありがとうございました。
- やはり**町に詳しい方(観光協会や役場)が案内するとツアーがとても楽しめます**。どこの町村でやっても実りあるものになると思います。
- とてもいい機会を作ってくださいありがとうございます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## 4 まとめ・次年度以降の提言

## ■ 令和4年度の成果と反省、来年度への展望

### 令和4年度の成果と反省

- 令和4年度は、観光協会の職員が集まり2回のWSと2つの実証事業(情報共有事業と金山町現地勉強会)を行った。それらを通して、互いの町村への理解が深まったり、観光協会職員どうしの交流を図る(顔を合わせる場・議論する場を創出する)ことができた。
- また顔を合わせて議論を行う中で、新たな連携事業や連携事業案が生まれ、「必要な連携事業を必要なタイミングで積極的に行う」方向性への機運が見られた。
- その一方で、アイディアは出るもののなかなか実現に向けて動きにくいという課題があった。

### 来年度への展望

- 令和5年度は、令和4年度に行った情報共有や現地勉強会を継続して、よりよい観光情報提供や観光協会職員どうしのよりよい関係性構築を目指しつつ、必要な連携事業に新たにスピード感をもって取り組む必要がある。
- そのために、連携事業を行うにあたって指針となるビジョンを作成し、ビジョンに沿った連携事業を進めやすい体制を構築する。

※ビジョンの詳細は、P22資料参照

### 来年度の方向性

令和5年度は、観光協会の広域連携の推進に向けてビジョンや体制を整える。加えて、アイディア出しとその実現を図る年度とする。

広域連携地域づくり検討会議

#### 連携事業の推進を促すビジョンの作成

- 連携事業を行うにあたって指針となるビジョンを作成し、新たな連携事業をどんどん行うことができる体制を構築する。
- 必要に応じて、広域で連携して観光に取り組む他地域の視察研修会を開催して、ビジョン作成や連携推進に役立てる。

#### 交流の場・互いの理解を深める場の継続

- 現地勉強会、GoogleカレンダーやLINE等を活用した情報共有体制を維持し、より互いについて理解を深めて観光情報提供に役立てたり、連絡・相談し合える関係性を構築する。
- 議論と実践の中で、よりよい体制づくりのためにツールや体制を更新し続ける

観光協会連携部会(仮)

#### 連携事業の積極的な推進

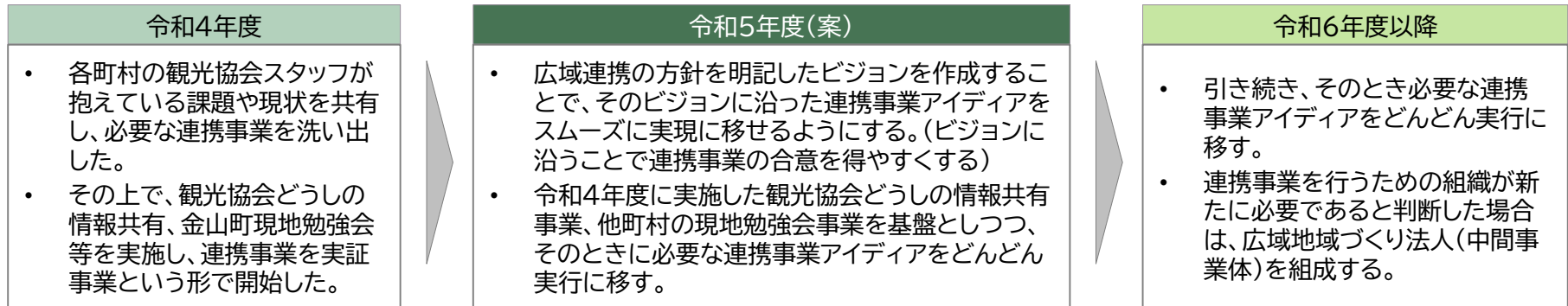
- そのとき必要だと思う連携事業を互いに積極的に提案・実施する。(奥会津振興センターは必要に応じて都度支援を行う。)



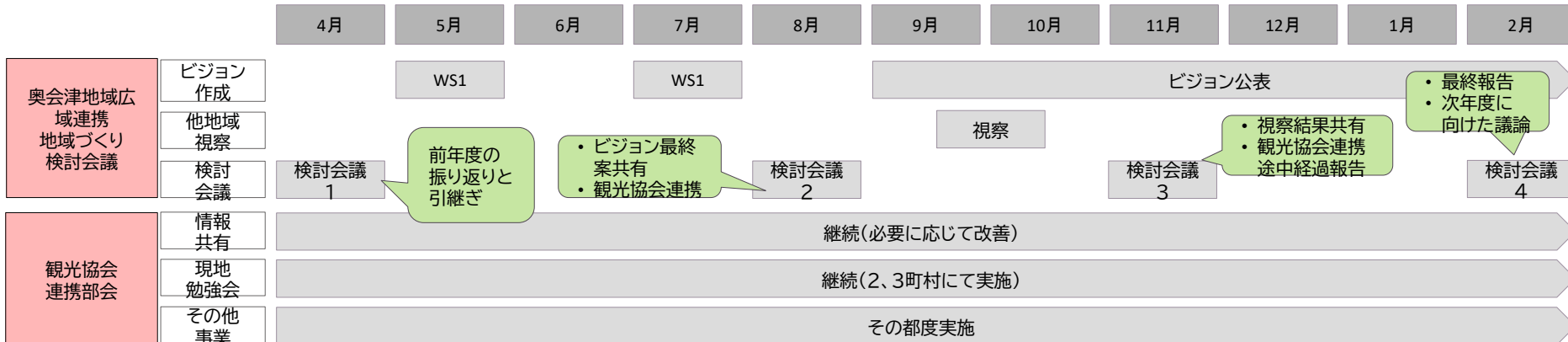
## ■ 奥会津地域における広域地域づくり法人(中間事業体)の組成・育成に向けて

- 広域地域づくり法人(中間事業体)の組成は、広域連携事業を継続的に実施するために、将来的に必要である。
- 一方で、現状では広域地域づくり法人(中間事業体)としての役割を担うことができる組織が存在せず、また観光協会連携の取り組みが実証事業という形で始まったばかりである段階で、新たな組織を組成することはハードルが高い。
- そのため令和5年度は、広域地域づくり法人(中間事業体)を組成・育成する前段階として、連携促進に向けてビジョンや体制を整備しつつ、必要な連携事業を観光協会同士で積極的に提案・実施し、連携事業を上げていく仕組みとして、「広域連携地域づくり検討会議」と「観光協会連携部会(仮称)」の2つを設置し、検討と実践の両輪の仕組みづくりを進める。

### 令和5年度の取組み(案)



### 令和5年度スケジュール(イメージ)



## 参考資料

概要版 令和4年度奥会津地域における広域連携地域づくり推進業務のまとめ

# 令和4年度奥会津地域における広域連携地域づくり推進業務のまとめ

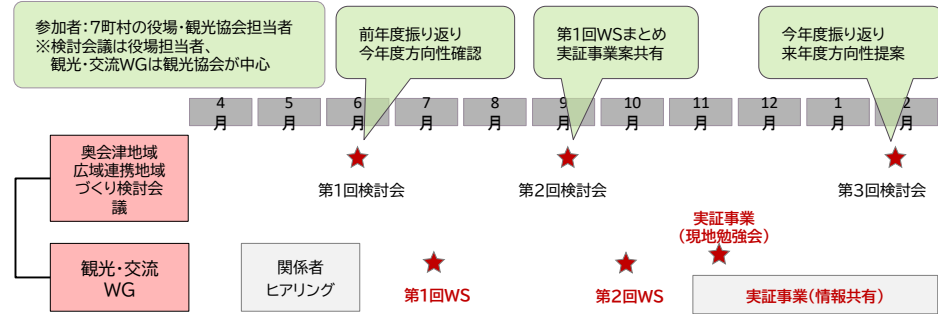
## ①背景と令和4年度の位置づけ

**将来像** 「百年続く、奥会津」に向けて、奥会津7町村に適した広域地域づくりの事業と仕組みを継続して運営する

**長期目標** 地域の主体的な取組の中から、特に**町村の枠を超える**ことで、より効果的・効率的な事業運営(省力化・自走化・地域貢献)・顧客視点のより魅力のある事業創出(顧客獲得・高付加価値化)を目指す。

- 「第4期只見川電源流域振興計画(令和2～令和11/2020～2029)」のもと、『100年後も活力に満ちた豊かな奥会津』に向け、令和元年度(2019年度)から広域連携事業及び実施体制について検討。
- 令和2年度からは、地域経済循環を生み出す広域連携について、また具体的に取組むべき地域課題と事業について議論。令和4年度には取組む事業内容等を絞り込み、より効果的・効率的な事業運営とより魅力ある事業創出に向けて具体的な取り組みを開始。

## ②今年度の実施事業とスケジュール



## ③今年度の成果

### <成果まとめ>

- ・実証事業を行い、互いの町村への理解が深まったり、観光協会スタッフ同士の交流を図る(顔を合わせる場・議論する場を創出する)ことができた。
- ・新たな連携事業や連携事業案が生まれ、「必要な連携事業を必要なタイミングで積極的に行う」方向性への機運が見られた。

### <今年度の反省>

- ・「必要な連携事業を必要なタイミングで積極的に行う」機運は見られたが、さらなるスピード感が求められる。

### 第1回WS

#### <テーマ>

- ・7町村の観光協会などの皆様の**交流・意見交換の場**をつくる
- ・日々の業務や取組みの中で気づいたことや悩んでいることを共有したり、一緒に取組んでみたいことについて、**意見交換やアイデア**を出し合ってみる

#### <成果>

- ・議論の中で、**実証事業案があがった**
  - ・奥会津広域観光案内のレベルアップ
  - ・奥会津をより楽しむレンタサイクル
  - ・ローカルな情報・体験
  - ・二次交通の組立



### 第2回WS

#### <テーマ>

- ・7町村の観光協会などの皆様の**交流・意見交換の場**をつくる
- ・第1回WSの議論を踏まえ事務局が作成した事業案について、**意見交換やアイデア**を出し合ってみる

#### <成果>

- ・Googleカレンダー、LINE等を用いた**情報共有開始**
- ・互いの町村や担当者を知るための**現地勉強会実施が決定**



### 実証事業(現地勉強会)

#### <テーマ・概要>

- ・金山町を訪問し、観光協会スタッフの案内で観光スポットを巡る。
- ・目的:互いの観光地を知る、参加者同士の交流を図る。

#### <成果>

- ・参加者の広域連携の**モチベーションが高まった**
- ・「実際に体験してよく理解できた」等の好意的な意見、「もっと互いに話す時間がほしい」等の次回につながる意見が得られた。
- ・議論の中で**新たな連携事業のアイデア**が生まれた。

例:マーケティング、お土産を共同で売り出す



### 実証事業(情報共有)

#### <テーマ・概要>

- ・GoogleカレンダーやLINE等を活用して、互いに**情報共有**できる体制、**すぐに連絡・相談できる関係性**を構築する。

#### <成果>

- ・不便な点は解消する等して、**よりよい連絡体制の構築**を検討できた。
- ・新たにSNSを活用した**情報共有も開始**。



## ③来年度の方向性

令和5年度は、観光協会の広域連携の推進に向けてビジョンや体制を整える。加えて、アイデア出しとその実現を図る年度とする。

広域連携地域づくり検討会議

観光協会連携部会

### 連携事業の推進を促すビジョンの作成

- ・連携事業を行うにあたって指針となるビジョンを作成し、新たな連携事業をどんどん行うことができる体制を構築する。
- ・必要に応じて、広域で連携して観光に取り組む他地域の視察研修会を開催して、ビジョン作成や連携推進に役立てる。

### 交流の場・互いの理解を深める場の継続

- ・現地勉強会、GoogleカレンダーやLINE等を活用した情報共有体制を維持し、より互いについて理解を深めて観光情報提供に役立てたり、連絡・相談し合える関係性を構築する。
- ・議論と実践の中で、よりよい体制づくりのためにツールや体制を更新し続ける。

### 連携事業の積極的な推進

- ・そのとき必要だと思う連携事業を互いに積極的に提案・実施する。(奥会津振興センターは必要に応じて都度支援を行う。)